



しらおい防災マスター会  
吉村智会長

自然災害をどのように恐れて、どのように準備をすればいいのか。

対策をする人は「災害は必ずくる可能性が高い」「家族で対策について話すことによりコミュニケーションがとれる」「体験者の話を聞いたことがある」などです。一方、対策を取らない人は「どのような対策を取るといいのか分からない」「費用がかかる」「身近に体験者がいない」などです。

しかし現実には国内でも世界でも毎年のように大きな災害が起きて多くの人命が失われているし、被害額も膨大な金額になっています。

私たちは2019年9月6日の胆振東部地震で、約1日間の停電を体験し、停電がいかに日常生活で不便で大変かを体験しました。これに水がない、ガスが使えないことを想像してください。何を備えると良いか思い浮かぶと思います。

水と食料、情報源となる携帯ラジオ、明かりをとる懐中電灯が必要です。また、災害の種類によっては避難所も違います。避難所に行く道順に危険箇所はないですか、けがをしたときの応急救護の方法が分かかりますか、ということなどを一緒に勉強しませんか。私たちは要望があればどこへでも出掛けて講演いたします。

## 「防災に関心を持ってください」

同会連絡先：民部さん ☎080-6099-2130

町は町内に関わる災害情報をメールで配信しています。また、防災行政無線で広報したものと同じ内容を自動音声で確認できるテレホンサービスも提供しています。

▼メールサービス登録QRコード



▼テレホンサービス

☎050-5306-2685 ※通話料は自己負担 ※総務課危機管理室提供情報

### 非常用持ち出しバッグの内容例

マスク、消毒液、体温計など／飲料水、食料品（カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど）／貴重品（貯金通帳、印鑑、現金、健康保険証など）／救急用品（ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など）／ヘルメット、軍手、懐中電灯、携帯ラジオ、予備電池、携帯電話の充電器／乳児のいる家庭はミルク・紙おむつ・ほ乳瓶など



## 「季節予報」の活用

季節予報とは、天気予報・週間天気予報のように白老町は「明日は晴れるでしょう」「明日の最高気温は25℃です」といった予報ではなく、「向こう1カ月間は曇り・雨の日が多い」などと、期間の大きな天候や、「今後1カ月の気温が『高い』となる確率は50%です」というような平年の状況と比べて「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」となる可能性の大きさを確率で発表しています。「いつもの夏（平年）」という基準からどれくらいずれる可能性が大きいか、ということが分かります。衣替えや観光・レジャーなどに季節予報を利用してください。季節予報には次の4種類の予報があります。

- ① 1カ月予報 - 毎週木曜日、平均気温や降水量などの傾向を予報。
- ② 3カ月予報 - 毎月25日頃、平均気温や降水量などの傾向を予報。
- ③ 暖候期予報 - 2月25日頃、夏（6月～8月）の平均気温や降水量などの傾向を予報。
- ④ 寒候期予報 - 9月25日頃、冬（12月～2月）の平均気温や降水量などの傾向を予報。

問い合わせ先：総務課 危機管理室 ☎85-3080

## 町民意見募集の結果をお知らせします

### ●史跡白老仙台藩陣屋跡保存活用計画案

募集期間：令和2年12月9日～1月8日 意見件数：0件

問い合わせ：仙台藩白老元陣屋資料館 ☎85-2666

### ●白老町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第8期）素案

募集期間：令和2年12月28日～1月26日 意見件数：0件

問い合わせ：高齢者介護課 介護保険グループ・高齢者保健福祉グループ ☎82-5541

### ●白老町男女共同参画計画（あいプラン）第5次案

募集期間：令和2年12月24日～1月25日 意見件数：0件

問い合わせ：生活環境課 交通・町民活動グループ ☎82-2265